

(事業所における基本情報)

- ① 事業所名 第2ジュニアゆうあい
- ② 作成年月日 2026年3月18日
- ③ 法人(事業所)理念  
充実した療育と多種多様な体験の提供により、自信をつけて社会へ踏み出そう!
- ④ 支援方針  
利用者様とともに、常に安心できる時間と空間を共有しながら、多種多様な体験を通じて「できた!」という自信(自己肯定感)を育みます  
日々の活動や地域資源の活用体験の中で、自ら考えて選択する力を養い、一人ひとりが自分らしく社会へ踏み出し、充実した将来を過ごせるよう全力で支援します
- ⑤ 営業時間 13:00~18:00(学校休業日9:00~17:00)
- ⑥ 送迎実施の有無 有(ただし事業所からの距離により要相談)

(支援内容)

本人支援の内容と5領域の関連性

- ① 健康・生活
- 健康状態の維持・改善(ストレス解消など)
  - 生活習慣や生活リズムの形成(時間管理・整理整頓・金銭感覚など)
  - 地域社会における実践的な生活スキルの習得と活用
  - 生活におけるマネジメントスキルの育成(自立に向けた準備など)
  - 自己管理能力の向上(おやつのカロリー計算、パソコン入力など)
- ② 運動・感覚
- 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上
  - 身体の移動能力の向上(外出活動等を通じた体力づくり)
  - 保有する感覚の活用(五感を刺激する創作、音楽活動)
  - 感覚の特性への対応(リフレッシュ・ストレス発散)
  - 多様な体験を通じた心身の活性化(抹茶の会、地活でのダンス披露など)
- ③ 認知・行動
- 認知の特性についての理解と対応
  - 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得(工程の理解、手順書に沿った作業など)
  - 自己肯定感の醸成(Good job ノートによる成功体験の可視化)
  - 意思決定と自己選択の支援(余暇の過ごし方や目標の自己発信)
  - 将来の進路や目標に向けた意識付け(就労の準備、職場見学など)
- ④ 言語・コミュニケーション
- コミュニケーションの基礎的能力の向上

- 言語の受容と表出（会話、ゲーム、感情の表出など）
- コミュニケーション手段の選択と活用（絵チップ、iPadの活用など）
- 状況に応じた適切な対人スキルの習得（相手の気持ちの理解、適切な距離感など）
- 自分の考えや気持ちを伝える力の育成（スケジュール内の「お話」項目の活用）
- ⑤人間関係・社会性
  - 情緒の安定
  - 他者との関わりの形成（トラブル解決、話し合い、助け合いなど）
  - 遊びや集団活動を通じた社会性の発達
  - 仲間づくりと集団への参加（行事のお手伝い、異年齢交流など）
  - 社会生活に必要なルールとマナーの習得（挨拶、スマホ利用のルール、公共の場での振る舞いなど）
- ⑦ 家族支援（きょうだいへの支援も含む。）の内容
  - アタッチメント(愛着)の安定と、家庭環境の整備に関する支援
  - 家族(きょうだいを含む。)の相談に対する適切な助言と、家庭状況に応じた無理のない支援方法の提供
  - デイロボ・LINE等を活用した、日々の活動様子（記述・写真）の共有と安心の提供
  - 行事への家族参加を通じた、成長を共に見守る機会の創出
  - 長期休暇中の食育支援や就労・福祉に関する情報交換会・勉強会への実施
- ⑧ 移行支援の内容
  - 学校との定期的な情報共有による、中高生期に必要な学習・生活面の一貫した支援
  - 進学や就労等の進路を見据え、本人・家族・学校・関係機関と連携した円滑な移行支援
  - 将来の自立した生活を見据えた、職場見学や作業体験の実施
  - 地域資源の活用体験を通じた、将来の余暇の居場所づくり
- ⑨ 地域支援・地域連携の内容
  - 地域の公園や公共施設、店舗の積極的な活用による社会経験の蓄積
  - 地域イベント（城北福祉まつり 公民館行事）への参加を通じた地域住民との交流
  - 公共交通機関の利用練習や買い物体験等、地域の中で自立して活動するための実践的なスキル向上支援
- ⑩ 職員の質の向上に資する取組
  - 社内研修 スキルアップ研修 外部研修の派遣 オンライン研修
  - 資格手当制度 資格取得の助成制度
  - 療育・制度、5領域等にかかる研修等
- ⑪ 主な行事等
  - 遠足 夏祭り 作品展 クリスマス会
  - ゴズ釣り大会

○学校休業日のお出かけ 外食体験